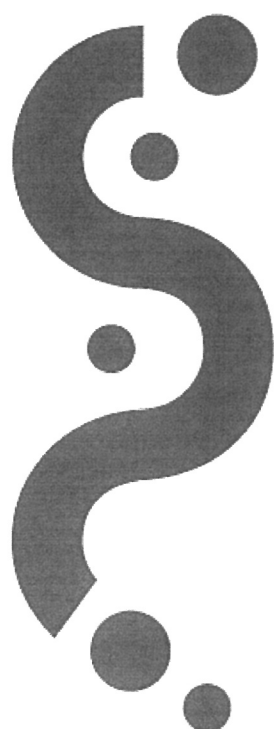


第 4 回東アジア地方政府会合

The Fourth East Asia Local and Regional Government Congress



The **E**ast **A**sia Local and
Regional Government **C**ongress

■ 第4回東アジア地方政府会合

開催日 2014年1月20日(月)～22日(水)

会 場 ホテル日航奈良、奈良ホテル

テーマ ①「少子高齢化時代の社会保障」

講師: アン・サンフン(ソウル大学社会福祉学科教授)

宮本太郎(中央大学教授)、奈良県副知事 前田努

②「地域経済の振興と雇用」

講師: 久住時男(新潟県見附市長)

藻谷浩介((株)日本総合研究所調査部主席研究員)

■ プログラム

(敬称略)

日 付	時間	プログラム	備 考
1月20日(月)	13:00～13:30	オリエンテーション	
	13:30～18:15	グループ討議(上級実務者)	※首長は エクスカーションへ 〔法隆寺等訪問〕
	19:00～20:30	ウェルカムレセプション(奈良ホテル)	
1月21日(火)	8:45～8:55	主催者挨拶 奈良県知事 荒井正吾	
	8:55～9:10	来賓挨拶 (一財)地方自治研究機構会長 石原信雄	
	9:10～9:45	基調講演 前ASEAN事務総長 スリン・ピッスワン	
	9:45～12:00	グループ討議(上級実務者)概要報告 グループ討議(首長)	
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～15:40	グループ討議(首長)	
	16:00～16:45	全体会議	
	16:45～17:20	記念撮影	
	17:30～18:00	代表記者会見	
	18:30～20:30	知事招宴	
1月22日(水)	9:00～12:00	バイ会談(希望地方政府のみ)	

■講師

1. 基調講演



スリン・ピッスワン

(奈良県立大学客員教授・前 ASEAN 事務総長)

1949 年生まれ。米国ハーバード大学で政治学、中東研究で修士号及び博士号を取得。タイの英字紙 the Nation、the Bangkok Post のコラムニストを 1975 年から 1992 年まで務める。その後、タマサート大学政治学教授、外務副大臣、外務大臣の職を務め、国連などの国際機関の主要ポストを歴任。2008 年、タイ政府及び他の ASEAN 加盟国の承認を得て ASEAN 事務総長に就任、2013 年より現職。

2. グループ討議

〔テーマ 1〕 少子高齢化時代の社会保障



アン・サンブン (ソウル大学社会福祉学科教授)

2012 年～現在ソウル大学 (韓国) 社会科学部社会福祉学科教授

2007 年ソウル大学 (韓国) 社会科学部社会福祉学科准教授

2003 年ソウル大学 (韓国) 社会科学部社会福祉学科助教授

2001 年ソウル大学 (韓国) 社会科学部社会福祉学科常勤上席講師

2000 年ウプサラ大学 (スウェーデン) 社会学博士号 (Ph. D)



宮本太郎 (中央大学法学部教授)

東京都出身。比較政治学、福祉政策論専攻。政治学博士。中央大学大学院法学研究科博士課程修了。ストックホルム大学客員研究員、スウェーデン労働生活研究機構客員研究員、立命館大学政策科学部教授、北海道大学大学院法学研究科教授などを経て、2013 年より現職。

〔テーマ 2〕 地域経済の振興と雇用



久住時男 (新潟県見附市長)

1949 年、新潟県見附市生まれ。青山学院大学卒業後、岩谷産業に入社。香港・ベトナムなど海外にも駐在。2002 年 11 月、新潟県見附市長に初当選、現在 3 期目。提言実践首長会会長、「全国まちの駅」連絡協議会会長、スマートウェルネスシティ首長研究会会長を務めるほか、文部科学省の生涯学習の審議委員や国土交通省の社会資本整備専門委員なども歴任。また、2010 年には国連の専門機関である世界気象機関 WMO の国際会議で災害対応に関する基調講演を行う経験を持つ。



藻谷浩介 ((株) 日本総合研究所調査部主席研究員)

山口県出身。平成合併前 3,200 市町村の 99.9%、海外 59 ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。東大法学部卒業、日本開発銀行入行、米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所出向などを経ながら、地域振興や人口成熟問題に関し精力的に研究・著作・講演を行う。2012 年より現職。